

イノベーション推進国際連携シンポジウム

日時

平成24年6月29日(金) 13:30~17:30

場所

アルカディア市ヶ谷 私学会館 7F 白根

※地図はHPよりご確認ください <http://www.arcadia-jp.org/access.htm>

お問い合わせ

東京農工大学 戦略企画課 担当:坂本/芳野

Tel:042-367-5937 E-mail: senryaku@cc.tuat.ac.jp

プログラム

- 13:00-13:30 開場・受付
- 13:30-13:40 開会挨拶
松永是(東京農工大学 学長)
- 13:40-13:50 来賓挨拶
文部科学省(予定)
- 13:50-14:00 休憩
- 14:00-14:10 開催趣旨:東京農工大学のリーディング大学院の取り組み
千葉一裕(東京農工大学 教授)
- 14:10-14:40 講演1:持続可能な穀物生産の確保
Dr. Yongfan Piao(国連食糧農業機関(FAO))
- 14:40-15:10 講演2:コーネル大学の活動と世界の食料生産における大学の役割
Assoc. Prof. Dr. Keith Lloyd Perry(コーネル大学)
- 15:10-15:20 講演3:持続可能なネマトードコントロールへの革新的な研究
Prof. Dr. Florian M. W. Grundler(ボン大学)
- 15:20-15:30 講演4:Food 4 Future—未来の社会的な課題に立ち向かう
ヨーロッパの知識とイノベーションコミュニティ
Prof. Dr. Brigitte Petersen(ボン大学)
- 15:30-16:00 コーヒーブレイク
- 16:00-16:20 講演5:イノベーションチャンピオンとは(仮)
小泉明正(SRIインターナショナル日本代表)
- 16:20-16:40 講演6:食料の安全保障とJICAの協力
牧野耕司(国際協力機構(JICA) 次長)
- 16:40-17:00 講演7:世界の飢餓とWFP 国連世界食糧計画の活動
保田由布子(国連世界食糧計画(WFP) 広報官)
- 17:00-17:30 ディスカッション・閉会挨拶

※講演は基本的に英語で行われます(司会・挨拶は日本語で行われます)。

※シンポジウム終了後に情報交流会(4F 鳳凰 17:45~)を予定しております。

ご都合の良い方はご出席いただけますと幸いに存じます。

シンポジウム概要

東京農工大学(学長:松永 是)は地球規模のグリーン・クリーン食料生産を実現するイノベーション推進のリーダーの養成を目指す大学院博士課程を設置する予定です。その人材育成の在り方について、具体的な指針提示に向けた意見交換会となる「イノベーション推進国際連携シンポジウム」を6月29日、13:30~より、アルカディア市ヶ谷(私学会館/千代田区九段北)にて開催いたします。

当日は本学の基本理念に賛同し、今後の人材教育・育成の連携をとる国連食糧農業機関(FAO)、国連世界食糧計画(WFP)、国際協力機構(JICA)、SRI インターナショナル(スタンフォード大学関係機関)、コーネル大学、ボン大学等らの関係者が出席し行われるものです。

現在、全世界の食料生産の大部分が石油エネルギーを利用することによって作り出されており、全人類約70億人のための食料生産は自然農法では賅えないことを意味しています。このままさらなる人口の増加により、食料生産に関わる石油エネルギーの使用量もますます増加していくと、人類はエネルギー・資源の枯渇等によるかつてない大規模な飢餓を経験することとなるでしょう。

この生命の源である「食」に関する地球規模での究極の課題に対して、人類が永続的に地球環境を持続しながら、心身共に豊かな生活を送るために、どのような政策・人材育成が必要であるか、各講演者からそれぞれの立場で提案・説明いただきます。

本シンポジウムはこの課題に対する具体的な指針提示に向けた第一歩となるシンポジウムとなります。

皆様ご多忙のことと存じますが、本シンポジウムにご出席賜りますと幸甚です。

